

# 北海道開発の将来展望に関するとりまとめ(案) (概要)

国土交通省北海道局  
平成26年11月11日



# 目次

北海道開発の将来展望に関するとりまとめ(案)概要 P1

我が国をめぐる長期的な潮流と課題 等 P2

目指すべき北海道の将来像 P3

目指すべき北海道の将来像による国の課題解決への貢献(北海道開発の意義) P5

効果的な計画推進のための取組戦略 P6



# 北海道開発の将来展望に関するとりまとめ(案)概要

- ・「北海道開発の将来展望に関する有識者懇談会」(座長 田村亨・北海道大学大学院教授)は、北海道開発の将来展望や長期的視点に立った北海道の課題に関して検討。
- ・以下は、第1回から第4回までの議論をとりまとめたものであり、今後年内に最終とりまとめを予定。

## 1. 我が国をめぐる長期的な潮流と課題

- 人口急減・超高齢化
- 大規模災害の切迫
- 世界の人口、食料、エネルギー需要の増加などの国際環境の変化

### 課題

- ・人口減少克服・地方創生の取組
- ・食料・エネルギー安全保障の確保 等

## 2. 北海道の人口経済と新たな政策課題の動向

- 北海道の人口構造・産業経済の課題
  - ・全国に先んじて進む人口構造の変化による、経済活動の著しい低下、地域そのものの崩壊が懸念
  - ・人口構造の変化に対応した持続的・安定的経済の確立 等
- 新たな政策課題と北海道開発
  - ・農林水産業の成長産業化
  - ・観光立国の実現 等

## 3. 北海道開発を考える視点 —長期的・グローバルな視点では何が価値を持つか—

- 食料供給力、広大な土地、豊富な資源・エネルギー
- 北の優位性 ○雪や寒さが強みに
- 地域条件の見方—リスク分散・技術革新
- 多様な豊かさの実現
- 北海道の固有性—文化・歴史・技術

## 4. 目指すべき北海道の将来像

### ○食と観光で世界水準の価値創造

- ・食関連産業の革新が実現し、北海道が我が国の食と農業の中心となっている
- ・世界に評価される観光地となり、観光が稼ぐ基幹産業となっている

### ○脆弱な国土構造の改善への貢献

- ・国家的規模の災害に備えた機能分散や体制整備が強化され、災害発生時に役立っている
- ・エネルギー安定供給体制の強靱化に北海道が役割を担っている

### ○国内外の多様性と連携により生み出される対流の創出

- ・北海道の固有性を活かした世界とのつながりが形成されている
- ・地域資源で”稼ぐ地域”や、交流・協働人口の増加により活力を創出している地域など、人口減少の克服に向けた元気な地域が北海道の各地に形成されている

### ○安全・安心な社会基盤の確立による快適な北国の暮らし

- ・住民生活や事業活動を支える安全・安心な社会基盤が確立し、特に冬の生活・事業環境が向上し、快適な北国の暮らしが実現している

## 5. 目指すべき北海道の将来像による国の課題解決への貢献(北海道開発の意義)

○多様で活力ある持続可能な地域社会モデルの提示

○我が国の安定性への寄与

○多様な価値観が共生し活力ある社会を形成する共生社会の実現

## 6. 効果的な計画推進のための取組戦略

○広域分散等の特性を踏まえた地域構造の形成

○北海道開発を推進する人材の育成・活用とプラットフォーム等の体制構築

○圏域間や道外他ブロックとの連携と自律的な地域運営等の促進

○地域と協働したインフラのマネジメントの推進

○2020年に北海道の魅力を世界に発信



# 我が国をめぐる長期的な潮流と課題 等

## 我が国をめぐる長期的な潮流と課題

### ○人口急減・超高齢化

- ・50年後に1億人程度の安定的な人口構造を保持する目標のもと、「人口減少克服・地方創生」への取組

### ○大規模災害の切迫

- ・災害リスクの増大に伴う安全・安全な国土・地域・経済社会の構築

### ○世界の人口、食料、エネルギー需要の増加などの国際環境の変化

- ・食料自給率の向上や緊急時のため国内の食料供給力の確保・向上
- ・化石燃料の海外依存度が高い等の状況を踏まえた、エネルギー安全保障の確保

## 北海道の人口経済と新たな政策課題の動向

### ○北海道の人口構造・産業経済の課題

- ・付加価値の高い製造業の集積が十分ではないなどの産業構造の弱み
- ・北海道は全国に先んじる人口減少先進地であり、経済活動の著しい低下、地域そのものの崩壊が懸念
- ・人口構造の変化に対応した交流人口・協働人口の拡大、雇用の創出等による持続的・安定的経済の確立

### ○新たな政策課題と北海道開発

- ・北海道の農業・農村の特徴を踏まえた構造改革への的確な対応
- ・訪日外国人旅行者数2,000万人の高みを目指したインバウンド観光の振興
- ・エネルギーをめぐる国内外の諸情勢の変化
- ・気候変動による豪雨、雪害、農林水産物の生産等の影響

## 北海道開発を考える視点－長期的・グローバルな視点では何が価値を持つか－

### ○食料供給力、広大な土地、豊富な資源・エネルギー

- ・国内の農業生産量の約2割、漁業生産量の約3割を供給
- ・良質な水、森林、風力、地熱など優れた資源が豊富に賦存

### ○北の優位性

- ・北極海航路のアジアの入り口になるなど、北海道は北半球における国際交流の重要拠点となる可能性

### ○雪や寒さが強みに

- ・良質な雪は外国人観光客を惹きつける大きな力

### ○地域条件の見方－リスク分散・技術革新

- ・首都直下地震等の大規模な自然災害に対するリスク分散を考えると、北海道の遠隔性等は地域条件として優位

### ○多様な豊かさの実現

- ・社会の成熟に伴う自己実現や社会貢献の場としての北海道の役割

### ○北海道の固有性－文化・歴史・技術

- ・積雪寒冷地技術の北東アジア地域等での活用可能性
- ・アイヌ文化の振興等、先住民族政策は国際的な重要課題



# 目指すべき北海道の将来像 ①

・北海道の資源・特性を活かして国の課題解決に貢献するという北海道開発の意義に照らした、中長期的(おおむね2050年頃まで)に目指すべき北海道の将来像を整理。

## 食と観光で世界水準の価値創造

**食関連産業の革新が実現し、北海道が我が国の食と農業の中心となっている**

- ◆農業経営の改善が進展し、農業競争力が強化
  - ・大規模経営等による生産性の向上、ICTやロボット技術を活用した農作業管理の精密化・省力化等が進む
- ◆食関連産業を核とした広域的な産業振興が進む
  - ・食の研究開発拠点の形成や道内各地での6次産業化等の取組が進展
- ◆北海道内及び北海道と国内外を結ぶ物流・流通機能が強化
- ◆北海道の食が世界でブランド力を持っている
  - ・農水産品の生産・加工品製造が重要な輸出産業に成長し、オランダやデンマークのように輸出競争力が向上

**世界に評価される観光地となり、観光が稼ぐ基幹産業となっている**

- ◆国際水準のリゾート地や広域的な観光圏の形成
  - ・食や景観に加え、スポーツや独自の歴史・文化など、地域の特色を活かした満足度の高い観光プログラムを提供
- ◆国際会議等(MICE)の誘致の活発化
- ◆国内外からの観光客の北海道へのアクセス改善
  - ・LCC等のダイレクト便の充実、北海道新幹線の利用やクルーズ船の寄港
- ◆域外からの観光消費額が増加し地域の多様な産業が活性化
  - ・地域が一体となった自然環境の保全・再生や景観の維持・創出、おもてなしの魅力向上等の取組により、スイスのように観光競争力が向上

## 脆弱な国土構造の改善への貢献

**国家的規模の災害に備えた機能分散や体制整備が強化され、災害発生時に役立っている**

- ◆経済機能のリスク分散に資する産業活動拠点の形成
  - ・企業誘致の取組、企業立地適地への工場等の分散・移転が進む
- ◆災害発生時における食料・エネルギーの本州への供給
  - ・食料備蓄・供給体制の充実、北本連系の増強
- ◆新千歳空港が主要な国際空港の災害発生時の代替空港に

**エネルギー安定供給体制の強靱化に北海道が役割を担っている**

- ◆エネルギー安定供給体制構築が進捗
  - ・化石燃料に依存しないエネルギー利用の増加、広域的な連携の強化
- ◆水素社会の実現に向けた取組が進展
  - ・風力等を用いた水素の製造や供給等が進む
- ◆ロシアの天然ガスの受入拠点の形成、海洋資源開発が進捗



## 目指すべき北海道の将来像 ②

### 国内外の多様性と連携により生み出される対流の創出

#### 北海道の固有性を活かした世界とのつながりが形成されている

- ◆道内の各地域において、世界各方面との交流が活発化
- ◆世界でもまれな積雪寒冷地に位置する大都市・札幌市の発展
  - ・世界の創造都市と連携しつつ、クリエイティブ産業等の集積などが進む
- ◆道央圏等の産業集積が進捗
  - ・北日本最大の広域物流拠点である苫小牧港、新千歳空港などの活用
- ◆寒冷地技術に関する国際的な交流やビジネスが活性化
- ◆アイヌ文化の国民理解の深まり
  - ・「民族共生の象徴となる空間」を核としたアイヌ文化の復興の進展
- ◆極東ロシアとの友好・経済交流が飛躍的に発展

#### 地域資源で“稼ぐ地域”や、交流・協働人口の増加により活力を創出している地域など、人口減少の克服に向けた元気な地域が北海道の各地に形成されている

- ◆食と観光等による持続的な地域経済が確立し、安定的な定住人口が維持
- ◆転入増加・長期滞在の活発化による地域経済や雇用への好影響
  - ・新たなビジネスの参入や教育機関を核とする地域開発等が進展
- ◆地域資源が域内循環している自立的な地域の発現
  - ・地域に賦存するエネルギーを利用した小規模分散型エネルギーシステムの構築など
- ◆協働人口の増加が地域の活力を創出
  - ・防災や福祉等の分野における都市と地方の連携の仕組みが構築され、都市の課題解決にも貢献

### 安全・安心な社会基盤の確立による快適な北国の暮らし

#### 住民生活や事業活動を支える安全・安心な社会基盤が確立し、特に冬の生活・事業環境が向上し、快適な北国の暮らしが実現している

- ◆冬も安全なハード・ソフト一体となった交通基盤の整備が充実
  - ・高規格な道路網が構築され、国道等も含めた安全・快適性が向上
  - ・高齢者等の移動手段としてのバス等の公共交通機関が充実
  - ・ITS(高度道路交通システム)の進展により、安全・快適な移動環境の整備が進む
- ◆水害、土砂災害、地震、火山噴火等の自然災害に対して強靱な社会の形成が進む
  - ・治水施設等の防災に資する施設の整備や防災拠点としての道の駅の活用など、ハード・ソフト両面からの防災対策が進む
- ◆民間事業者と行政が連携した生活福祉・地域防災の取組が普及





## 目指すべき北海道の将来像による国の課題解決への貢献(北海道開発の意義)

- ・目指すべき北海道の将来像を実現していくことにより、北海道は、我が国の課題解決に貢献し、持続的発展に寄与していくことが期待できる。

### 多様で活力ある持続可能な地域社会モデルの提示

- ・全国に人口減少、高齢化が先んじる北海道が高品質な農林水産物・食品と観光資源で稼ぐ地域社会のトップランナーとなれば、多様で活力ある持続可能な地域社会モデルを提示することとなり、我が国の希望と活力に

### 我が国の安定性への寄与

- ・農地・農業用水の確保や農業の担い手の確保・育成などを図るとともに、国際競争力ある食と農業を実現することにより、北海道は、食料自給率の維持・向上に貢献するとともに、引き続き我が国の食料供給力の中心的役割を担う
- ・北海道の豊富な再生可能エネルギーの利活用を図ることにより、エネルギーの安定供給や地球環境問題への対策に貢献
- ・国家的規模の災害時に備え、機能分散に役割を担い、東京一極集中からの脱却に寄与
- ・世界とのつながりの形成によって、北海道を通じて我が国と諸外国との友好関係を深化
- ・北の国境地帯に位置する北海道が活力ある地域社会を形成することは、我が国の安定に寄与

### 多様な価値観が共生し活力ある社会を形成する共生社会の実現

- ・アイヌ文化等に関する国民理解の促進等により、我が国の多様な文化の発展に寄与し、またアイヌの人々の社会的・経済的地位の向上を図り、もって共生社会の実現に向けた先導的な役割を果たす





## 効果的な計画推進のための取組戦略 ①

- ・第7期開発計画における地球環境の保全や自然との共生などの考え方を継承しつつ、地方創生などへの取組強化が必要。
- ・危機意識と目指すべき将来像を共有し、課題解決のための取組を各主体が一体となって推進する必要。
- ・以下は、取組戦略の方向性に関する整理であり、今後具体化や、各主体が取り組む課題の検討が必要。

### 広域分散等の特性を踏まえた地域構造の形成

#### <課題等>

- ▶道内各地から人口が集まってくる札幌一極集中の傾向。人口30万人以上の都市圏が2050年には道内で1つに
- ▶広域分散型社会を形成し、特有の農村地域を有する北海道におけるコンパクト+ネットワークの進め方の検討
- ▶各中核都市が周辺地域の生活を支えるとともに、若者の定住が期待できる魅力ある都市機能の確保
- ▶首都圏や札幌圏に向かった人が道内各地に還流したり、首都圏や札幌圏等から道内各地に向かう人の流れの創出
- ▶都市圏内や都市・地域間の交通と情報のネットワークを強化し、人、モノ、情報の対流が加速され各圏域が個性を活かして発展する北海道型ネットワーク構造を想定した北海道開発の進め方の提示

### 北海道開発を推進する人材の育成・活用とプラットフォーム等の体制構築

#### ○北海道・地域の発展を担う多様な中核的人材の育成・活用

##### <課題等>

- ▶地域のデザインや産業の創出等を担う人材の確保や育成
- ▶スキルを持った都市部の定年退職者等の活躍の場の提供
- ▶留学生の戦略的な受け入れ等、人材のネットワークの構築
- ▶大学・教育機関を活用した北海道で学びたい者の受け入れ、定住やかかわりを持ってもらう取組
- ▶道内での人材の発掘・育成

#### ○産学官が連携したプラットフォーム等の体制構築と投資の促進

##### <課題等>

- ▶「北海道国際輸送プラットホーム」等を例とする関係者の連携の下で、取組を適切にマネジメントする体制の構築
- ▶交通、農業等の分野やテーマに応じた効果的な体制の構築
- ▶特区制度の活用を促すなどの道外や海外からの投資の呼び込み
- ▶市民参加型金融の活用等、スモールビジネスに対する投資のマッチングの仕組みの充実



## 効果的な計画推進のための取組戦略 ②

### 圏域間や道外他ブロックとの連携と 自律的な地域運営等の促進

#### ○圏域間や道外他ブロックとの連携の促進

##### <課題等>

- ▶観光振興や防災対策での6圏域を越える圏域間の連携
- ▶人、モノ、情報の道外他ブロックとの戦略的交流やネットワークの強化

#### ○自律的な地域運営とコミュニティ機能の向上

##### <課題等>

- ▶人口急減等の克服のため、地域経営の観点に立って地域資源を有効に活かす市町村行政
- ▶行政と住民の協働による地域の課題解決に向けた自律的な地域運営
- ▶人のつながりとコミュニティ機能の向上による地域の強靱化
- ▶NPOやソーシャルビジネス等、公共の担い手の育成やコーディネート取組

### 地域と協働したインフラのマネジメントの推進

#### <課題等>

- ▶インフラ長寿命化計画による中長期的な維持管理を図りつつ、計画的な社会資本整備の着実な推進
- ▶インフラ利用のパフォーマンスの最大化に向けた、利用者や地域との運用改善取組
- ▶市町村のインフラ維持管理の戦略的な実施に向けた体制づくりや支援
- ▶地域に根差した建設業の担い手不足に対応した、将来にわたって地域とともに公共空間を維持していくための仕組みづくり

### 2020年に北海道の魅力を世界に発信

#### <課題等>

- ▶「象徴空間」が一般公開される2020年オリンピック・パラリンピック東京大会は、北海道の魅力発信の好機
- ▶アイヌ文化の海外に向けた情報発信の強化や選手団の合宿誘致

